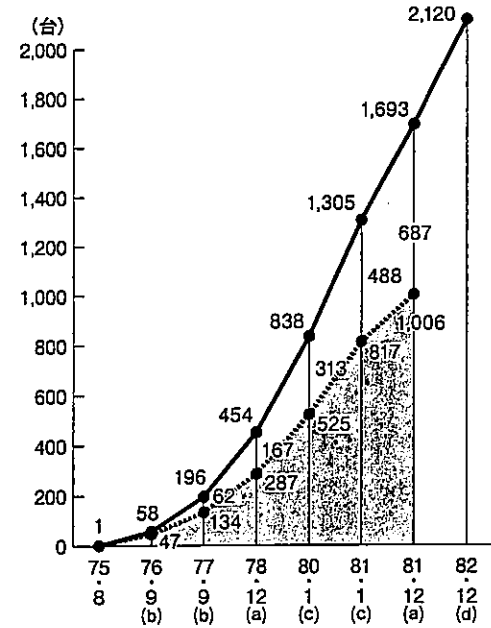


「本年度診療報酬改定でのロボット支援手術の保険適用拡大の政策的・歴史的評価」図表

図1 わが国のCT設置台数の推移



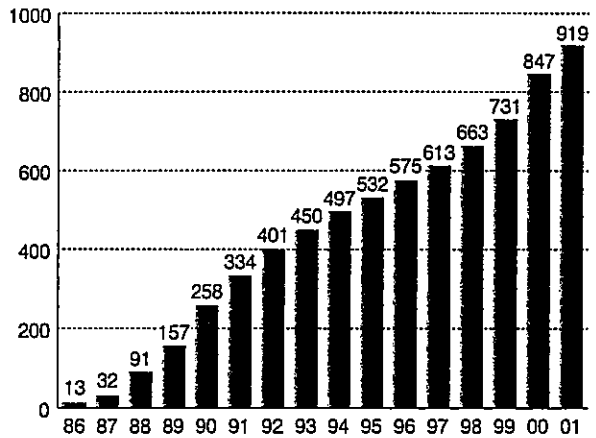
白い部分は全身用、黒い部分は頭部用
 資料：(a)厚生省「医療施設調査」1978,1981
 (b)委谷真理ほか：公衆衛生, 44：364, 1980
 (c)「新医療」誌調査, 7(1), 8(4)
 (d)日経メディカル12(4)：208, 1983
 (『医療経済・政策学の探究』153頁、図1)
 出所：二木立「医療経済学」113頁 (『医療経済・政策学の探究』153頁)

表1 MRI設置台数の日米比較

年	台数			人口100万対台数		
	日本(A)	アメリカ(B)	(A/B×100)	日本(C)	アメリカ(D)	(C/D×100)
1980	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0
1981	0	3	0.0	0.0	0.0	0.0
1982	2	10	20.0	0.0	0.0	40.5
1983	3	35	8.6	0.0	0.1	17.4
1984	10	120	8.3	0.1	0.5	17.0
1985	40	300	13.3	0.3	1.2	27.3
1986	65	570	11.4	0.5	2.3	23.4
1987	124	887	14.0	1.0	3.5	28.9
1988	236	1,236	19.1	1.9	4.9	39.6
1989	473	1,628	29.1	3.8	6.3	60.6
1990	746	2,074	36.0	6.0	8.0	75.6
1991	1,048	2,583	40.6	8.5	9.9	85.8
1992	1,362	3,059	44.5	10.9	11.7	93.8
1993	1,685			13.5		

資料：1)「月刊・新医療」 2) Steinberg EP, et al: International Journal of Technology Assessment in Health Care 1:499-514, 1985.(1980~82年台数) 3) Concord Consulting Group, Inc.(1983年以降の台数) 4) OECD Health Systems Volume2, 1993.(人口)
 注：1) 日本は1986年以降は、各年5月調べ 2) アメリカは各年とも年末
 出所：二木立「日本の医療費」47頁 (『医療経済・政策学の探究』176頁)

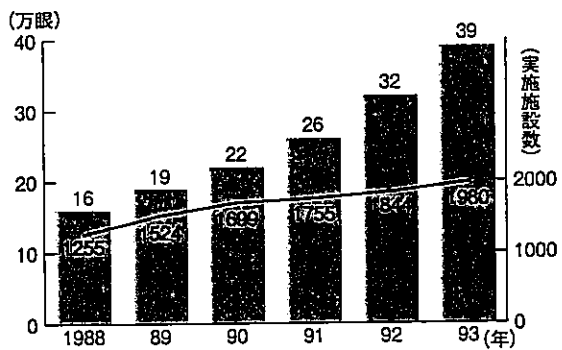
図2 日本の結石破砕装置台数の推移 (1986~2001年)



出所：「医療機器システム白書2002」318頁

図3 全国の白内障手術件数の推移

(眼内レンズ販売会社調べー三宅謙作氏提供)

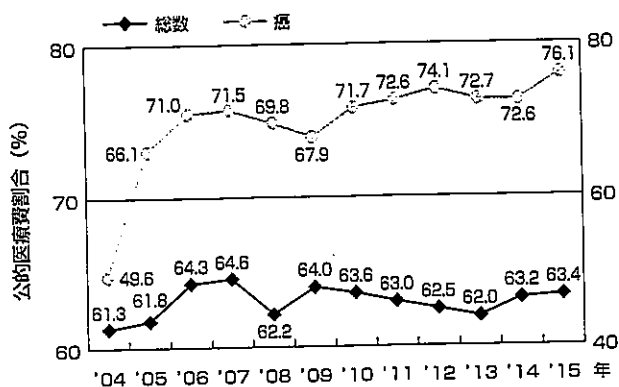


注：グラフ中の棒は手術件数、折れ線は実施施設数を表す。眼内レンズ挿入術が保険適用になった92年からの手術件数の伸びが高くなっている (93年は推計)。
 出所：「日経ヘルスケア」1994年1月号：34頁

「韓国・文在寅政権の医療改革案と医師会の反対」図

図表1

総医療費中の公的医療費割合の推移



出典：文献「」(図表2モ)

図表2

悪循環—低い診療報酬とバラン効果

